

# SunMoney: 複合経済

## 地域やグローバル経済の改革のための戦略

現在のグローバル経済システムの根源的な問題は、その成功のために無責任な収奪が推進され、その結果飢餓や環境破壊、貧困や戦争が起こることです。現在のグローバル市場がこの面で持続可能ではないことが示されていますので、堅固な地域市場が本来持つ責任が重要な解決策となってきます。http://homepage.mac.com/forever.netで紹介されている複合経済では、グローバル通貨よりも地域通貨が使われる状況を作り出すことで、そのような堅固な地域市場の創設のために地域通貨を強化します。

## 好まれる地域通貨

一般的にお金の価値は希少性から生まれます。手許にあるお金が少なければ、それだけお金は貴重なものになります。そのため、グローバル通貨が足りないときには、地域通貨が現れます。しかし取引においては使いやすいグローバル通貨が地域通貨よりも好まれるため、グローバル通貨が戻ってくると地域通貨は廃れます。そして、地域通貨の活気を保つためには、デフレーションを防ぐため地域通貨の発行量を少なくしておく必要があります。その結果、グローバル通貨よりも地域通貨が好まれるようにしない限り地域通貨は二流の市場にとどまり、グローバルな収奪に対してコミュニティが抵抗できるようにはなりません。

地域通貨が好まれるようにするための方法の一つは、地域通貨で水や電力のような基本財を直接、あるいは税金で買う場合に、大幅な割引（たとえば50%）をするという方法です。この戦略により地域通貨が資源担保で獲得する価値以上のものになり、商品の在庫に関係なく付加価値がつき、担保が必要なくなります。このような内的価値を地域通貨に与えることで、複合経済が成立します。

商品が地域で管理されていない場合、割引は法律で強制される必要があります、供給業者はその場合に価格を引き上げる自由を有します。たとえば、以前は単位あたり1米ドルで提供していたもののうち半分を、50%の割引をして地域通貨で販売する場合、米ドルでの価格は1.33米ドルになるものの、地域通貨での場合は0.67地域通貨ドルにすることで損失が回収できますし、地域の消費者は33%の割引を得ることが出来ます。全取引が地域通貨で行われるようになった場合、地域通貨での価格は1地域通貨ドルになります。この場合グローバル通貨での価格は2米ドルになりますので、地域通貨建てでのメリットは増大し、地域通貨システムの成長を促します。

もちろん地域は、供給業者が地域通貨で受け取る割合を制限できるようにすることも出来ます。たとえば、50%の割引が適用される地域通貨での支払額を半分に制限し、残りは上昇した

グローバル通貨で受け取るわけです。こうすることで、消費者は節約することができます。

地域通貨で水を買った場合の割引を法律で制定することで地域通貨による複合経済が構築されますが、地域通貨の成長と水資源の地域管理を推進するため、水代が生活費の中で重要な割合を占める地域では非常に強力なアプローチとなります。もっと発展した地域では、地域通貨での納税に対する割引が強力な戦略となり、地域市場を刺激して税収を増やし、税金の割引ぶんを取り戻すこととなります。

グローバル通貨に対する選好の次に大きな、地域通貨の発展への障壁はおそらく、多くの地域では誰も地域内での消費を目的として財やサービスの生産を行っていないことです。これらの人たちは地域市場に参加する方法も、おそらく動機もありません。地域通貨はこの問題に対処し、地元で生産された電力に基づいた混合経済を構築します。

地域通貨による混合経済では、地域の電力供給業者は地域通貨での支払いの場合割引をする義務が発生します。そして電力供給業者は発電事業者から地域通貨で電力を買い、太陽発電や風力発電機などの地域内発電の促進のために補助金を出すこととなります。エネルギーに内在している価値を地域通貨に与えることで、活力のある地域市場を創設し、エネルギーの自給ができるようになります。